

学校法人立川学園 専門学校公務員ゼミナール

令和元年度

# 自己評価報告書

令和2年4月1日

学校法人立川学園 専門学校公務員ゼミナール

(1) 教育理念・目標

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
学校における職業教育の特色は何か	4
社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生保護者等に周知がなされているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

【今後の課題と改善方策】

学生及び保護者様などに対する、本校の教育理念・目標・育成人材像などの周知の度合いが低いため、改善の余地がある。

まずはHPを利用し、積極的に情報開示していく。

【特記事項】

本校の教育目標や育成人材像などを再検討し、変更を加えた。時代の変化に即した社会に貢献できる人材育成に努めることを目標としている。

(2) 学校運営

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する規程等は整備されているか	3
教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に対する情報公開が適切になされているか	2
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

【今後の課題と改善方策】

学校運営方針、教育活動についての情報公開が不十分である。HP上で公開する準備を進めている。

【特記事項】

事業計画については、毎年度グループ校の責任者会議にて審議し、理事会にて決定している。年間目標、事業方針は全教職員に通達され、全教職員が目標達成に尽力している。独自のサーバーを備え、グループ校の情報共有、活用を円滑に行える情報システムを整備している。

(3) 教育活動

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

【今後の課題と改善方策】

通学が困難になった場合のために、オンライン授業の提供をする環境の整備が求められる。現時点でも授業のネット配信は行えるが、クオリティーの向上、学習プログラムの構築が課題である。

【特記事項】

アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーを策定し、教育活動の透明化を図っている。また、課題に挙げているオンライン授業の整備については、一部授業をネット配信するなど徐々に整備を進めている。

(4) 学修成果

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格取得率の向上が図られているか	2
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2

【今後の課題と改善方策】

公務員試験に合格することが目的となるため、資格取得の向上が図られていない。事務職員として求められる技能を中心に、資格取得の向上を目指す。

【特記事項】

退学者はほとんどいないため、退学率の低減を図られているといえる。

(5) 学生支援

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2
課外活動に対する支援体制は整備されているか	2
学生の生活環境への支援は行われているか	2
保護者と適切に連携しているか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

【今後の課題と改善方策】

学生の経済的側面に対する支援体制を強化するため、「高等教育の就学支援制度」対象校となることが課題である。

【特記事項】

過去の受験生の情報を積極的に開示し、就職支援を実施している。本校独自の各種奨学制度を整備しており、経済的側面に対する支援体制を充実させている。保護者へ対しては、3者面談の実施や学校の様子や採用試験情報などをまとめた通信を毎月作成し、配布している。

(6) 教育環境

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
防災に対する体制は整備されているか	3

【今後の課題と改善方策】

オンライン授業など様々なメディアを利活用した授業を行えるように、録画設備の刷新、学習プログラムの構築を行う必要がある。

(7) 学生の受入れ募集

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか	4
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

【今後の課題と改善方策】

募集活動は適切に行っているが、今後も正しい情報を提供し、適切な募集活動に努めたい。

【特記事項】

高校訪問、高校内ガイダンスを実施し、本校の周知に努めている。また、佐賀県産業人材確保プロジェクト推進会議専修学校部会の事業にも参加し、高校へ本校の周知を行っている。

(8) 財務

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	3

【今後の課題と改善方策】

少子化の影響により、学生数の減少が懸念される。学生のニーズに合わせ、学習形態を多様化し、収入の安定化を図りたい。

【特記事項】

収支のバランスが取れており、財務基盤は安定しているといえる。

(9) 法令等の遵守

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

【今後の課題と改善方策】

学校運営において遵守すべき法令及び一般法令について、学校としては当然遵守しているが、全ての教職員が遵守すべき法令を理解しているとはいえない。教職員の法令に対する理解を高める必要がある。

【特記事項】

法改正に伴い、寄付行為、学則の改定を行った。自己評価についても評価項目の見直し、各種内部規定の整備を行い、一層の法令遵守に努めた。

(10) 社会貢献・地域貢献

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の教育資源（教員派遣等）を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	2

【今後の課題と改善方策】

ボランティア活動については、積極的な参加も必要であるが同時に、学生の安全確保も求められるため、適切な指導を行っていく。

【特記事項】

毎日の学校周辺の清掃活動、さが桜マラソンや災害復興のボランティア活動を行った。昨年の佐賀豪雨発生の際には多くの学生が復興ボランティアに参加した。